



岐阜北週報

5月

□ 題 字	原尾 勝	□ 会 長	原尾 勝	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	河村 訓陸	2013-2014
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	安藤 武司	No.1537
		会報委員長	前田 吉彦	14.5.7発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1536 回 例会 4/23(水) 卓話 (10) 100万\$ 担当：国井・前田	第 1537 回 例会 5/7(水) 慶祝行事 卓話 (11) 担当：永瀬・小泉	第 1538 回 例会 5/14(水) 卓話 (12) 100万\$ 担当：原尾・安藤(武)・林

会長挨拶

皆さん、こんにちは。

4月は、ロータリー雑誌月間です。我々の定款の第13条ロータリー雑誌の第1節に購読の義務というのが御座います。「各会員は、会員身分を保持する限りRIの機関雑誌またはRI理事会から本クラブに対して承認並びに指定されている地域的なロータリー雑誌（日本においてはロータリーの友）を購読しなければならない」とあります。

昭和27年4月、第60地区の大会が開催され、7月の新年度から、日本の地区は、東日本と西日本の2地区に分割される事に決定していましたので特別な地区大会となりました。日本が二つに分割されても緊密に連絡を取り合い情報を共有する為に2地区で共通の雑誌を発行するという決定を致しました。この新しい雑誌について本格的に取り決めをする為に昭和27年8月16日、岐阜市の長良川河畔にあった大竹旅館で会合が行われました。ここで決められたのは、昭和28年1月から毎月発行すること、価格を50円とするが広告を取って100円分の内容のある雑誌にすること、名前を『ロータリーの友』とする事等が決定されました。当時は、まだ戦後の動乱が落ちついた程度でしたので広告を取るのには、大変であったそうです。最初、横書きでスタートした『ロータリーの友』ですがその後、俳壇、歌壇等が加わり、縦書きが加わるようになりました。するとロータリアンから読みにくいと言う声が出て、昭和47年の1月号から左から開けると横書きに、右から開けると

会長挨拶 続き

縦書きという現在の様な雑誌の形になりました。昭和61年からカラーページを採用し、フルカラーページになったのは、平成15年7月号からです。この印刷版に対し、現在は、電子版による発行準備を進めていますが課題が多くまだまだ時間がかかる様です。皆様にもこの様な歴史が『ロータリーの友』にある事を胸に刻んで載いて読んで戴ければ幸いです。有りがとう御座いました。

出席報告

会員数：33名
出席数：29/33名
出席率：87.88%
欠席者：4名（出席免除2名 93.94%）

ニコニコBOX（敬称略）

前田 吉彦：本日卓話の当番です。西尾真由美さんにお話しを頂きます。宜しくお願ひします。

川崎 賢二：多治見での地区協議会では皆さんにお世話になりありがとうございます。

林 隆行：先日のゴルフで優勝させていただきありがとうございます。今後よろしくお願ひします。

河村 陸訓：国井さん、退院おめでとうございます。

委員会・同好会報告（敬称略）

・ロータリー情報委員 水川 渥
 去る4月18日にIGMが開催され、テーマが社会奉仕への積極参加ということで社会奉仕委員長の西垣会員が出席であったことから代わりに報告します。

当クラブの社会奉仕活動は、社会奉仕委員長が毎年変わることもあり新たな奉仕活動にチャレンジしようにも準備期間が無く例年と同じことを続けている状態である。

クラブで社会奉仕5か年計画というような計画をたてれば、委員長が変わっても継続性がたもたれるし、一つの奉仕活動を取りやめ新たな奉仕活動に着手もしやすいのではという意見が多数であった。

その他の議題では、ロータリー歴の浅い会員は規則に詳しくないので、間違ったことも気付かず行動しているような場合は遠慮なくベテランから指導してほしい。

・社会奉仕委員長 西垣 康紀
 4月27日の日曜ですが朝7時から長良川清掃が行われます。参加される会員はいつものグランドホテル前に集合願います。

・次期幹事 谷田 育子
 来年度の委員長は委員会運営方針をFAX、メールで4月30日までに提出してください。

幹事報告事項（敬称略）

幹事 安藤 武司
 次年度のIMは7月20日日曜日に都ホテルで開催されます。全員の登録をお願いします。

4月29日にABグループの対抗ゴルフ大会が関カントリークラブで開催されます。参加される4名の選手の検討をお祈りします。

去る2月23日にABグループの麻雀大会が開催されましたが、当クラブは家族ゴルフの日でしたので参加しておりません。優勝は岐阜南ロータリークラブでした。

次回の幹事会は各クラブの会長も参加ということなのでよろしくをお願いします。

前回の例会に来ていただいた元交換学生のJai Trimboliさんからお土産と資料が届いています報告します。

例会行事（敬称略）

卓話（10） 国井・前田
 グローバルなリーダー育成が必要なことから公益財団法人夢現エデュティメントが取り組ん

例会行事 続き

でいる「SEND to 2050 PROJECT」について西尾真由美講師からお話をいただきました。



「SEND to 2050 PROJECT」とは、最も重要な世代である中学生の中で、最もリーダーの資質を持っている生徒会へ、リーダーとしての自覚、母国への誇りを育み、世界規模の志を立てられる場やプログラムを構築するサポート事業。

（詳細は卓話集）

・西尾真由美講師のプロフィール
 岐阜県の中学校で教鞭をとったのち、1997年から教育相談業務に携わる。2006年より横浜市にて学校カウンセラー、スクールソーシャルワーカーとして教育相談や発達相談に従事。現在は、垂井町教育委員会スクールアドバイザー、NPO法人教育支援協会東海専務理事、社会福祉法人フィロス顧問、全国生徒会サミット協議会委員。

*主な著書
 特別支援教育、学級経営12カ月など

次回例会のご案内

第1538回 例会 5月14日（水）

卓話（12）

100万\$

担当者：原尾・安藤（武）・林

会報・広報 4月担当 西垣 康紀